

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)					
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 青少年健全育成				事業の必要性【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 青少年の健全育成の推進				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある	
事業		青少年問題協議会				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		生涯学習スポーツ課				事業の成果・分析		青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の推進について調査・検討を行い、新座警察署やPTA保護者会をはじめとする関係機関と意見交換することにより、今後の対策の一助となるよう意識共有を図った。また、会議資料及び議事録を関係機関に送付した。			
事業概要		地方青少年問題協議会法及び新座市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立について、調査、審議を行う。									
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他									
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☒ 国・県の制度＋市独自の制度 ☐ 市独自の制度									
根拠法令等		地方青少年問題協議会法、新座市青少年問題協議会条例									

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)						
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の方向性 Ⅲ I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）		91,000										
	財源内訳	一般財源	91,000										
		特定財源	0										
	支出済額（円）		68,500										
	不用額等（円）		22,500										
執行率（％）		75.27%											
実施内容		地方青少年問題協議会法及び新座市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の推進について調査・検討を行った。 1 委員数 18人 2 開催回数 1回											
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		今後の取組方針 Ⅲ 引き続き、青少年問題の現状を情報共有し、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の推進について調査・検討する場として継続していく。	
活動指標・成果指標	指標名	単位											
	協議会開催回数	回	1										

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート
(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報（Plan）		3 事業評価（Check）		
基本政策	第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】	事業の実施状況	B	A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域	第3節 青少年健全育成	事業の必要性【市民ニーズ】	B	A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目	施策1 青少年の健全育成の推進	事業の効率性【見直す余地】	A	A：余地はない B：余地はある
事業	青少年教育振興基金	施策への貢献度	A	A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属	生涯学習スポーツ課	事業の成果・分析	令和4年度の青少年教育振興事業助成件数（89件）と比較すると、令和5年度は申請数が増加しており、青少年の健全育成の推進ができています。	
事業概要	青少年教育振興事業（芸術文化、スポーツ、国内外派遣研修等参加、地域交流、環境美化及び奉仕活動）の推進に貢献する個人・団体に対し、助成を行う。 また、寄附金などを青少年教育振興基金に積み立てる。			
実施形態	■市が直接実施 □一部委託 □全部委託・指定管理 □その他			
実施根拠	□国・県の制度 □国・県の制度＋市独自の制度 ■市独自の制度			
根拠法令等	新座市青少年教育振興基金条例			

2 事業実績（Do）							4 事業の今後の方向性・取組方針（Action）		
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	Ⅲ Ⅰ：事業規模拡大 Ⅱ：改善しながら継続 Ⅲ：現状のまま継続 Ⅳ：事業規模縮小 Ⅴ：事業廃止 Ⅵ：事業終了
予算・決算	予算現額（円）		8,717,000						
	財源内訳	一般財源	1,897,000						
		特定財源	6,820,000						
	支出済額（円）		8,175,059						
	不用額等（円）		541,941						
	執行率（％）		93.78%						
実施内容			青少年教育振興事業の推進に貢献する個人・団体に対し、助成を行った。 助成件数：111件 助成額：3,464,311円 寄付金等を青少年教育振興基金に積み立てた。 積立額：4,710,748円（寄付71件分＋令和4年度繰越分）				今後の取組方針	青少年教育振興事業の推進に貢献する個人・団体に対する助成を継続して実施する。	
年度			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			令和9年度
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	青少年教育振興事業助成件数	件	111						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)	
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況	B A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず
施策領域		第3節 青少年健全育成				事業の必要性【市民ニーズ】	B A：高まっている B：変わらない C：薄れている
施策項目		施策1 青少年の健全育成の推進				事業の効率性【見直す余地】	B A：余地はない B：余地はある
事業		新座っ子ばわーあつぷくらぶ				施策への貢献度	A A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い
所属		生涯学習スポーツ課				事業の成果・分析	クラブの指導者は地域のボランティアによるものであるため、指導者の体調等を考慮する必要があり、クラブ数が減少してしまった。現時点で27クラブの開設に留まっているため、更なるクラブの開設を推進していく必要がある。
事業概要		市立小学校等を会場として、スポーツ推進委員、青少年育成推進委員会などの団体及び様々なスキルを持つ地域のボランティアが指導者となって、学習・文化・スポーツ・自然体験のジャンルで様々なクラブを開設し、子どもたちの週末活動の一層の充実と安全・安心な居場所の確保を図るとともに地域の教育力の活性化を図る。					
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他					
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☒ 国・県の制度＋市独自の制度 ☐ 市独自の制度					
根拠法令等		埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱					

2 事業実績 (Do)							4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)		
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性	II I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了	
予算・決算	予算現額（円）	3,358,000							
	財源内訳	一般財源	1,220,000						
		特定財源	2,138,000						
	支出済額（円）	2,879,552							
	不用額等（円）	478,448							
執行率（％）		85.75%							
実施内容		市立小学校等を会場として、スポーツ推進委員、青少年育成推進委員会などの団体及び様々なスキルを持つ地域のボランティアを指導者として、学習・文化・スポーツ・自然体験のジャンルで様々なクラブを開設し、子どもたちの週末活動の一層の充実と安全・安心な居場所の確保を図るとともに地域の教育力の活性化を図った。 クラブ開設数：27クラブ クラブ参加者数：508人					今後の取組方針	クラブの開設数を増やすため、引き続き本事業の周知を図り、指導者の確保に努めている。	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			
	指標名	単位							
活動指標・成果指標	クラブ開設数	クラブ	27						
	クラブ参加者数	人	508						

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート

(対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)	
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況	
施策領域		第3節 青少年健全育成				B	
施策項目		施策1 青少年の健全育成の推進				事業の必要性【市民ニーズ】	
事業		子どもの放課後居場所づくり				A	
所属		生涯学習スポーツ課				事業の効率性【見直す余地】	
事業概要		放課後等に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設置し、地域の方々の参画を得て、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。				B	
実施形態		■市が直接実施 ■一部委託 □全部委託・指定管理 □その他				施策への貢献度	
実施根拠		□国・県の制度 ■国・県の制度＋市独自の制度 □市独自の制度				A	
根拠法令等		埼玉県放課後子供教室推進事業等実施要綱 他				事業の成果・分析	
						放課後等に子どもたちが安全・安心に集える居場所を提供した。県内他市と比較し充実した事業内容であるため、登録児童数も多く、子育て世代にとって満足度の高い事業となっている。放課後児童保育室の指定管理者による一体的な運営を想定しており、直営校については委託化の検討を進める。	
2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)	
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	今後の方向性
予算・決算	予算現額（円）	163,939,000					
	財源内訳	一般財源	110,438,000				
		特定財源	53,501,000				
	支出済額（円）	159,398,084					
	不用額等（円）	4,540,916					
執行率（％）		97.23%					今後の取組方針
実施内容		放課後等に学校施設を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設置し、地域の方々の参画を得て、勉強、スポーツ、文化活動、地域との交流活動等を実施することにより、子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。 実施日：毎週月曜日～金曜日の放課後～午後5時（冬季のみ午後4時30分） 長期休業日（春・夏・冬・学年末）は、午前8時45分～午後4時30分 実施場所：各小学校のココフレンドルーム、校庭、体育館、図書室等 登録児童数：3,401人					
年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	指標名	単位					
活動指標・成果指標	登録率	％	39.3				
		引き続き、放課後等に子どもたちが安全・安心に集える居場所を提供する。					

第5次新座市総合計画実施計画 事務事業評価シート (対象：令和5年度実施事業)

1 事業基礎情報 (Plan)						3 事業評価 (Check)					
基本政策		第2章 基本政策2 生きる力と生きがいを育むまち【教育文化】				事業の実施状況		B		A：計画以上に実施 B：計画どおりに実施 C：計画どおりに実施できず	
施策領域		第3節 青少年健全育成				事業の必要性【市民ニーズ】		B		A：高まっている B：変わらない C：薄れている	
施策項目		施策1 青少年の健全育成の推進				事業の効率性【見直す余地】		A		A：余地はない B：余地はある	
事業		青少年育成団体補助				施策への貢献度		A		A：貢献している B：やや貢献している C：貢献の度合いが低い	
所属		生涯学習スポーツ課				事業の成果・分析		青少年の健全な成長に必要な資質の習得の機会を図っている団体に対して補助を行い、各団体の活動費として活用していただくことができた。			
事業概要		青少年の健全な成長に必要な資質の習得の機会を図っている団体に対し、補助を行う。									
実施形態		☒ 市が直接実施 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託・指定管理 ☐ その他									
実施根拠		☐ 国・県の制度 ☐ 国・県の制度＋市独自の制度 ☒ 市独自の制度									
根拠法令等		団体等に交付する補助金等交付要綱									

2 事業実績 (Do)						4 事業の今後の方向性・取組方針 (Action)					
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
予算・決算	予算現額 (円)		852,000								
	財源内訳	一般財源	852,000								
		特定財源	0								
	支出済額 (円)		781,230								
	不用額等 (円)		70,770								
執行率 (%)		91.69%									
実施内容			青少年の健全な成長に必要な資質の習得の機会を図っている団体に対し、補助を行った。 団体数：7団体 補助額：781,230円								
年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
活動指標・成果指標	指標名	単位									
	補助団体数	団体	7								
	補助額	円	781,230								
今後の方向性		Ⅲ		I：事業規模拡大 II：改善しながら継続 III：現状のまま継続 IV：事業規模縮小 V：事業廃止 VI：事業終了							
今後の取組方針		引き続き各団体に対して補助を行うことで、青少年の健全な成長に必要な資質の習得の機会を図っていただく。									